

# 平成29年度尾鷲市男女共同参画審議会 開催結果概要

目 的	平成29年度尾鷲市男女共同参画審議会
-----	--------------------

日 時	平成30年2月15日（木）15:00～16:00
-----	--------------------------

場 所	本庁2階 会議室
-----	----------

内 容
<p>○出席者 委員：重松会長、是井副会長、内山委員、堀内委員、服部委員、石川委員、梅谷委員、高木委員 市：市長公室 森本室長補佐、濱口主任主事</p> <p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 平成29年度尾鷲市男女共同参画推進状況及び事業報告、 平成30年度尾鷲市男女共同参画事業計画について（資料1） 事務局濱口より資料に沿って説明。</p> <p>○質疑 （委員） 来年度の事業として2つあがっているが、それ以外の事業は予定していないのか。</p> <p>（事務局） 大きな事業は2つでその他、広報記事などの掲載による意識啓発も引き続きやっていきたい。</p> <p>（委員） 第2次男女共同参画推進基本計画が10年間となっており、平成34年3月に計画終了の際に、どうなっていないといけないなどはあるのか。</p> <p>（事務局） 尾鷲市の計画では数値目標を設定していない。数字に捉われず、広い意味で進めるということで、男女共同参画社会の実現に向けて基本的に進めるといった形になっている。 次の新たな計画策定の際に、現在の計画の振り返りを行い、新たな計画を審議会の意見を受けて策定していきたいと考えている。</p> <p>（委員） 国などは2020年までに審議会等への女性の登用率30%を目指している。他の市町なども設定しているが、尾鷲市は設定していないとして、実施していることと目標がマッチしていればよい。 市役所の中の登用率をあげるのであれば、映画は市役所の職員が見たほうが良いが、広く啓発をかけたいくという意味であれば引き続き取り組みを進める必要がある。計画の基本目標に対する何か比較するようなデータはあるのか。</p> <p>（事務局） 前回の計画策定時には、三重県のアンケートを基に策定していると聞いている。そのデータを基に比較することは可能であると考えております。</p>

(委員)

市役所の中の各課の審議会男女割合などのデータは過去にとってある。男女共同参画の審議会が立ち上がった当初のころに尾鷲市だけで年齢別などのデータをとっているものがあると記憶している。

(事務局)

過去のデータを調べさせていただく。県と市のデータにより、前回との比較させていただきたい。

(委員)

情報提供や多くの人々が知識を得ることで男女共同参画社会の実現ができるという趣旨で進めればよいということであれば、フレンテみえとも関連すると思うが、先日、三重大学内で「ELLY」という団体から講師に来てもらって研修会を行った。LGBTの話で着目して聞いたが、この話を聞けば、男だ、女だ、といったことはなくなるという内容であった。小学生向けの事業もするし、幅広い世代に向けた対象の講座として開催できると思う。男女共同参画の違う側面から、企画することも面白いのではないかと思います。

(事務局)

フレンテみえは県下で啓発活動などをやっているが、ELLYとも連携していると思います。新しい情報を加味しながら、新たな企画を検討していきたいと思います。

(委員)

毎年、会議をしているが、自分が何をしてよいかわからにくい部分がある。ここ数年で、かなりやりとりができるようになってきたと思うが、自治会で男女共同参画審議会委員として、どのようなことをすればよいかわかりにくい。先日、開催されたリーダー研修会についても、リーダーということでハードルが高く参加しづらいものであった。

(事務局)

リーダー研修会については、フレンテみえと協議を進め、いかに参加しやすいようにするか議論しながら進めたが、リーダーを創るためにとなったが、ハードルがあがったことについては、反省している。尾鷲市としては、男女共同参画を全面に押し出すようにしたかった。今後の事業の協力の際は広く知らしめるように考えていきたいと思います。

(委員)

今の段階で男女共同参画という言葉は広く知れ渡っているのか。

(事務局)

言葉については、複数年情報発信等を行っているため、知っていると思うが、意味については、まだ広く知れ渡るまではいっていないと思っている。

(委員)

過去には男の料理教室などをPTAの中でもやっていたが、今はそういった機会も減ってきていると思うが、今のままで理解してもらっているか。

(事務局)

どこまで理解してもらっているか、データ化する必要がある。PTA大会については、参加者が多いので、担当課と相談して男女共同参画に関する事業を行うなど進めていきたいと思います。

(委員)

高校生の男女共同参画セミナーに参加させていただいたが、良い取組でした。子ども達が将来何になりたいか。男だから、女だからなど、自分たちで考え議論する場は有意義なものだと思います。今後、1年1組の生徒はこのセミナーで内容を理解してもらい、PRをしているが、正直どこまで世間に伝わっているのかという点がわからない部分がある。今回から始まった審議会委員が参加できる形は良いと思う。今後も参加できる機会を作っていただきたいと思います。

(委員)

プログレのクラスとビジネスとは違うので、ビジネスのクラスでやっても面白い意見がでると思う。

(事務局)

1年1組の担任の先生からも意見をうけ、広い形でやれば良いという意見であった。全校生徒への講演会を行い、次の時間でグループワークを行うなど、来年度に向けて検討すると先生に伝えたが、校長先生との協議もあるため、今後、検討していきたいと思います。

(委員)

総合的な学習の時間でやっているところがあるが、学校の先生の立場からすると、他所から先生がくると助かる。例えば、他のクラスの先生が授業を見て、そのノウハウを持ち帰り、自分のクラスで実施するなどすれば、予算は必要なく実施できる。高校の先生に負担はかかるが、同じ予算で効果を倍増できるため、そういった相談を持ち掛けていくのはどうか。

(委員)

生徒だけではなく、学校の先生に見てもらうのは良いと思う。学級参観みたいな形でも面白い。

(委員)

今年は委員への案内をいただいたので、高校セミナーを見せてもらったが、学校で今回のような教育がされて、社会へでていくと変わっていくと思う。また、この内容を私たちより上の世代の方々が、見てもらうのもよいと思う。

他の映画祭や講座のアンケートを見ても、男女共同参画の視点で初めて知り良かったなどの意見がでているため、独自に行う予算がないのであれば、他の事業の何かとコラボするのもよいと思う。

(委員)

年代別で言えば、過去にアンケートを取った際には、年代別に意識が違った。高齢者になるほど男性は仕事、女性は家庭といった形であったが、若い世代になるほど一緒になるといった結果がでていた。

(委員)

我々、高齢者はそういった意識がついている。意識を変えていくお手伝いができればよいと思う。

(事務局)

本日、色々な意見をいただきましたが、できることから実施していきたいと思っております。尾鷲高校セミナーについては、プログレから他のクラスにも取り組みを広げていくということは先生に協力いただければ実施していき、全校生徒を相手に講演会をする方法なども含めて尾鷲高校と相談し進めていきたい。

また、PTAの大会に男女共同参画関連の取組も教育総務課と打合せさせていただきたいと思っております。そして、「ELLY」という団体も情報収集し、平成30年度は予算編成が済んでいるため、難しいと思いますが、平成31年度、32年度など、計画の最終年度までには実施に向けて検討したいと思っております。できる限りのことは実施していきたいと思っております。

(委員)

ERRYは誰に向かっても話せる内容であると思う。小学校や中学校でも実施できる。さっきのアンケートの話だが、三重県がとっている内容で過去と比較して、高まっているような結果であれば、取組は効果的であると期待できるものであるが、高校セミナーをして効果はどうか。

(事務局)

高校生の全員にアンケートをとってはいないが、数人から直接感想を聞いた形です。数人の生徒の感想として新聞記事にも掲載されているものはあります。

(委員)

まず、レクチャーをして、次の時間に感想を聞くなどといった取組も必要かもしれない。

(事務局)

生徒や先生にアンケートをとるなど、成果を図るといった点を今後取り入れていきたいと思います。

(委員)

連携映画祭についてですが、紀宝町まで尾鷲市からどれぐらいかかるのか。

(事務局)

車で40程度の時間となっています。

(委員)

尾鷲からの参加者数が少ないことが見込まれるのではないかと。

(事務局)

5市町の持ち回りで事業を進めており、開催地が遠い場合は尾鷲市から参加しづらいという課題があります。

(事務局)

毎年尾鷲市で開催するのは金額的にネックとなり、5年に1回の開催という形をとっている。

5市町で集まってやっているの、やる場所に応援する体制となっている。

尾鷲でやる際には実績があがるが、来年度の紀宝町のようなになれば、映画祭については、男女共同参画の実績がどうという部分では弱い部分があります。

(委員)

映画祭については、自由参加であるため、モチベーションの高い人が行くものであり、2巡目で終わってやめられるのであれば、検討してもよいのではないかと。逆に、授業の一環として組み込んでいる尾鷲高校のセミナーでは効果が高いと思います。

そういう意味では来年度の事業計画の内、尾鷲高校のセミナーだけが大きな事業となります。

(事務局)

ここ数年間、同様の内容で進めているが、高校セミナーだけではなく、PTA大会など、先ほどまでの意見などを参考に取組をやっていきたいと思います。

また、フレンテみえが協力していただけるのであれば、フレンテみえ主催の新たな事業が起こせる可能性もあります。尾鷲市から何か実施できるものはないかと投げかけていきたいです。

(委員)

新たな事業を実施する際には、審議会の委員に対して通知などの連絡をいただきたい。

(事務局)

事業実施が決まれば、審議会の皆さまに連絡させていただきます。

(委員)

こういった場にフレンテみえの方にお越しいただくことはできるのでしょうか。

(事務局)

可能だと思います。

(委員)

先ほど、梅谷さんがいっていたことで具体的な案はありませんか。

(事務局)

リーダー研修や男女共同参画連携映画祭について、アンケート結果から、参加者が理解できた、良い話を聞かせてもらったなどの声があったので、そういった場に行く人が少しでも増えればよいと思うので、周知を図るといことで、情報発信を強化するとともに、委員が事前に知っているといよいと思います。

(委員)

情報発信いただくということをお願いしたい。その他委員から何かございませんか。

(委員)

尾鷲高校セミナーについては、プログレだけではなく、広げて行ってほしい取組であり、また、高校だけではなく、中学校などにも広げていければよいと思います。

また、キャリア教育のなかで、インターンシップや職場体験を中高生がやっているが、男女共同参画の知識を事前に得て、実施するとまた違うので、そういった取組を是非進めてほしい。

(委員)

尾鷲高校セミナーについては、プログレだけでは一部だけであるため、全学年は難しいとは思いますが、対象を広げて行っていただきたいと思います。

(委員)

今やっている事業をよりよい方向で進めて行っていただければありがたいと思います。

(委員)

他にございますか。なければ会議次第の次に移りたいと思います。

#### 4 その他

(事務局)

現在の審議会委員の任期が平成30年3月31日までとなっている。

再度、一般公募を行い、各種団体にお声がけさせていただきたいと思いますので、引き続きご協力をお願いいたします。

#### 5 閉 会

以上